

近現代史(43)「第一次世界大戦の東アジアへの影響」

○今回のポイント

【第一次世界大戦と東アジア】

(1) WW I による列強資本主義勢力の後退とアジア経済の成長

★東アジアに空前の好景気

○日本…[1. _____]が重工業をふくめて大幅に伸び、農業生産を上回る。

○中国…[2. _____]が成長し、大きな紡績工場が建設される。

○民衆運動の勃興

・都市労働者、青年知識人の増加

↓

・大戦における帝政国家の敗北、戦後処理にあたっての[3. _____]、ロシア革命の成功

↓

・社会運動、民族運動が活発化

(2) 文学革命

① 発生までの流れ

・辛亥革命後の政治の混迷（※袁世凱死亡後、中国は[4. _____]し分裂状態に陥っていた。）

↓

・民衆の自覚にもとづく根本的社会改革を目指す必要性！

↓

・啓蒙運動「[5. _____]」スタート！

② 文学革命を担った人々

・[6. _____]…『[7. _____]』刊行。「民主と科学」を旗印に儒教道徳を批判。後、中国共産党初代委員長。

・[8. _____]…1917年、[9. _____]を展開。これまで正統とされてきた文語文は長い年月を経て口語と乖離していた。そのため話し言葉である口語で文学表現をすることが目指された。ただ単に口語を使うだけでなく、文語表現による儒教道徳イデオロギーからの脱却でもあった。

・[10. _____]…白話小説である『[11. _____]』（1918）『[12. _____]』（1921）で自国民の心理の暗黒面を描き出す。

・[13. _____]…北京大学図書館長。マルクス主義研究会を創設。張作霖が処刑。

(3) 第一次世界大戦後の日本

[14. _____]

- ・国民の政治参加の拡大を求める
- ・社会主義への関心 → 労働運動、農民運動の活発化
 - ▶1918年 [15. _____]、政党内閣の誕生
 - ▶1925年 [16. _____]

政府

1925年

[17. _____]

大正デモクラシーの潮流の抑制をはかる。

【日本の動きと民族運動】

(1) WW I における日本の対外進出

- ①ドイツ領占領…[18. _____]と太平洋上ドイツ領[19. _____]を占領。
- ②[20. _____]…日本の大隈内閣が[21. _____]政府の提出した要求。山東の旧ドイツ権益の譲渡、中国東北地方南部・内モンゴルの事実上の日本支配、中国内政への干渉など。袁世凱政権は屈服したが、中国民衆の反日感情が高まった。
- ③[22. _____]…寺内内閣によるソヴィエト干渉戦争。原内閣も続行。反革命軍を支援し戦費10億円と死者3000を出して成果なく終わった。他国の撤兵後も最後まで軍をとどめて内外の批判を浴びた。

(2) WW I 後の朝鮮

- ①[23. _____]
- ・ロシア革命および民族自決 → 日本からの独立要求が高まる！ → 運動の勃発！
- ②日本の植民地政策の転換
- ・[24. _____]…憲兵や軍隊による韓国支配。言論、出版、集会などの自由を奪い、さらには日本語の強制、土地調査を通じての土地の接收を行った。
 - ・[25. _____]…三・一運動後の日本の朝鮮統治。懐柔策をとって同化政策に転換。結果として日本語や日本の慣習を強制する結果となり、朝鮮文化の抹殺が行われた。
- ③1919年4月 [26. _____]結成(in 上海)
- ⇒三・一運動を継承する為、上海で樹立宣言された政府。列強への依存度が高く、まもなく有名無実となった。初代大統領は[27. _____]。

(3) WW I 後の中国

- ①[28. _____]
- ↓ ・中国は二十一カ条のとりけしや、山東のドイツ利権の返還を提訴したが列強によって退けられた。
- ②[29. _____]
- ・パリ講和会議における列強の中国に対する処置に抗議し5月4日に北京大学の学生を中心に抗議デモが起こる。
 - ・条約反対や排日運動が各地に波及し、日本商品の排斥やストライキが起こり[30. _____]に発展。

(4) 日本の国際的地位の向上と英米の警戒

- ①日本の国際的地位の向上
- ・パリ講和会議における日本の獲得権益
 - ・ドイツ権益の継承の承認 → [31. _____]、[32. _____]のドイツ領南洋諸島が委任統治領となる。
 - ・国際連盟の[33. _____]となる。
- ②日本に対する英米の警戒
- ・1921~22年の[34. _____] 米英が中国の主張を支持
- ↓
- ・[35. _____]…中国の主権尊重と領土保全が約束、山東のドイツ権益が中国に返還される。